

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おりーぷprime教室		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 24日		～ 2024年 11月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18人	(回答者数) 12人
○従業者評価実施期間	2024年 10月 24日		～ 2024年 11月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様が気軽に療育や子育ての相談ができる環境がある。	電話だけでなく、LINEなども活用して保護者の方が気軽に連絡ができるようにしている。	引き続き、保護者様が相談しやすい環境づくりを行っていく。
2	子どもたちが自己決定できるような療育を行っている。	おやつを食べるかどうかの判断も、スタッフが聞くのではなく子どもたち自身にさせたり、遊びも、提案はしても決定は子どもたちにしてもらうなど、工夫している。	子どもたちが自分から行動したり判断できるよう、引き続き工夫しながら療育を行っていく。
3	その季節に合ったイベントなどを行い、子どもたちに喜んでもらえるようなイベント案を立案している。	スタッフ同士で季節ごとにかぶらないように楽しいイベントを考えている。	子どもたちが喜んでくれるイベントを引き続き考えていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や、保護者への家族会等の実施をしていないため、事業所がどのような活動をしているかなどの発信ができていない。	家族会等、行う時間がなかった。	年に1,2回でも家族会等行う時間を設け、保護者に向けての情報発信を行っていく。
2	部屋の広さは十分に確保できているが、クールダウンするための別室がないため、パニック等起こした子どもに対応する場所がない。	今まであまりパニック等起こす子どもがおらず、部屋を分けたりしていなかった。	仕切りなどを用いて他の子どもたちと離れた場所にいけるよう工夫する。
3	支援を行う子どもたちの話し合いなどが、全員そろって毎日に行えず月に1回の会議などでしか行えていない。	短時間のパート職員などは午前中などの話し合いに参加できず、いつも決まったスタッフ同士でしか話し合いができていない。	どうしてもスタッフが全員そろっての話し合いは難しいので、話し合った内容をスタッフ間で共有できるように工夫を行う。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	おりーぷprime教室		公表日		R6年 12月 17日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	複数の部屋をうまく運用している。 勉強するところと遊ぶところがしっかり分かれている。	引き続き、スペースを分けて勉強と遊びのメリハリをつけていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	重度子どもには1対1でスタッフがついて支援している。	スタッフが少ないと子どもを見る目が手薄になってしまい、担当がついていてもずっと見てあげられない時がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	段差などはなくし、転倒等ないようにしている。	引き続き、入所する子どもの特性に応じて環境設定を行う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0	毎日掃除を行い、清潔を保っている。 使用する物品やおもちゃは消毒を行っている。	引き続き、行っていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	クールダウンするスペースがない。	仕切りなどを活用し、クールダウンできるスペースを設ける。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	1	ミーティングを行っている。	短時間のパート職員はあまりできていないため、オンライン上などのミーティング等を検討する。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0	保護者アンケートで上がった内容は職員間で共有し、改善できるところは改善している。	年1回のアンケートだけでなく、定期的に保護者様に意見を聞く機会を作る。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	会議等で意見を交換している。	会議だけでなく普段から意見を言える環境を作る。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	1	監査や実地指導は行われている。	監査・実地指導以外の外部評価は行われていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	0	定期的に法人内の研修があり、身体拘束や虐待などの研修を行っている。	外部の研修や専門的な研修を受ける機会を増やしていきたい。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	適切な支援プログラムを作成するためによく話し合いをする。	引き続き、行っていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	4	0	毎月の会議等で数人ケースをあげて話し合いを行い、より良い療育を行うために意見を交換している。 話し合った内容を個別支援計画に取り入れて保護者様に公表している。	すべてのスタッフが話し合いに参加できるわけではないので、個別で意見を聞いたり内容を共有したりする必要がある。
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	1		
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1		
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	1		

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0	スタッフ同士で話し合いを行い、その季節に合ったイベントを実施している。	話し合いを行うスタッフがいつも同じになってしまうので、いろいろなスタッフに意見を聞きイベントを考えていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	4	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	2	毎日とまではいかないが、適宜行っている。	毎日打ち合わせを行う時間が設けられないため、メモなどを使用して伝達するように心がける。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1	連絡帳を記入しデータで保管している。	データの保管場所などは徹底し、個人情報の流出などに気をつける。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1	半年ごとに見直しを行っている。	基本的に児発管が行っているため、他のスタッフにも共有できるようにする。
	24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	3	0	基本活動を意識しながら支援を行っている。	引き続き、支援を行う。
	25	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	1	おやつを食べる判断や、どのおもちゃで遊ぶかなど、自分で判断できるよう促している。	自己選択をできる機会を増やしていく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	基本的に児発管が参加している。	よく担当するスタッフや、専門職のすたっふなども参加できるようにしていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	0		
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	2	相談支援事業所等とは連携をとり、相談等は行っている。 提携の医療機関があり、緊急時等の対応は整っている。	地域との交流が行えていない。 イベント等に地域交流を入れるなど、工夫していきたい。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	4		
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	1	送迎時や送迎後に電話などでその日の状況など伝えている。	引き続き、行っていく。
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	2	行う機会がなかった。	機会を作り、行っていきたい。
	32	【児発事業所・児発センターのみ】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	33	【児発事業所・児発センターのみ】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	34	【児発センターのみ】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	【児発センターのみ】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
36	【児発センターのみ】（自立支援）協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
37	【放デイのみ】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	1	情報交換は行っている。	引き続き、行っていく。 保護者を介さないといけない学校もあるので気をつける。	
38	【放デイのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	1	児童発達から上がった子どもは情報共有ができています。	おりべ以外から入所してきた子どもたちの情報共有は不十分であるため、行えるようにしていく。	

	39	【放デイのみ】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	0	相談支援の方に話をしている。	こちらが何か資料等を作成しているわけではないので、しっかり情報共有ができていないかもしれない。
	40	【放デイのみ】 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	0	1	参加する機会がない。	積極的に参加したい。
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	新規契約の際に、保護者様に直接説明をしている。変更があった場合なども、直接または手紙等でお知らせしている。	引き続き、行っていく。
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	個別支援計画書を作成する際は必ず保護者様へモニタリングを実施し、ご家族の意向を聞いて反映させている。	引き続き、行っていく。
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3	0	個別支援計画書に目を通していただき、保護者から署名をいただいている。	引き続き、行っていく。
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	0	LINEなどでの相談のほかにも、保護者様からの希望があれば直接面談を行っている。	引き続き、行っていく。
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	2	時間などなく、行う機会がなかった。	今後、行っていきたい。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	1	気軽に話ができるLINEなどで、保護者様からの相談など受け付けている。	引き続き、行っていく。
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	ブログ等、発信を行っている。	引き続き、行っていく。
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	鍵付きの書類庫に保管している。	引き続き、行っていく。
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	子どもだけでなく、保護者様もひとりひとりの性格などに対して配慮を行っている。	引き続き、行っていく。
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2	近隣の住民の方とは挨拶などは交わしている。	地域住民をイベントに招待にする機会がないので、そのようなイベントを開催できるよう検討する。
51	【放デイのみ】 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	1	気軽に話ができるLINEなどで、保護者様からの相談など受け付けている。	引き続き、行っていく。	
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	緊急時のマニュアルは作成し、保護者に配布している。	イベントとして避難訓練を実施しているため、突発的な訓練なども行っていきたい。
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	年に数回、避難訓練等を実施している。	
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	てんかんのある子どもやアレルギーのある子どもについては、目につくところにリストを貼り、誰でもすぐに確認できるようにしている。	リストを見ながら誰でも対応できるよう、会議等でマニュアルを共有する。
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	0		
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0	安全計画のマニュアルがあり、研修も実施されている。	引き続き、行っていく。
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0	緊急時のマニュアルに記載している。	引き続き、行っていく。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1	回覧にして全職員に共有している。	引き続き、行っていく。
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	年に数回研修を実施し、検討を行っている。	引き続き、職員間でも話し合い虐待や身体拘

60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	0	個別支援計画書に記載し、保護者様に理解していただき署名をもらっている。	束については考えていきたい。
----	--	---	---	-------------------------------------	----------------